

農道整備計画が浮上していた、道立野幌森林公園内を通過する江別市道



野幌森林公園

農道整備中止へ

札幌開建 車両増大見込めず

道立野幌森林公園(札幌市、江別市など)内の国の農道整備計画に、自然保護団体などが反対している問題で、札幌開発建設部(札幌開建)が、計画を中止する方向で検討していることが十二日、分かった。整備後の農道に、事業の要件を満たすだけの農業用車両の増大が見込めないため、国が計画した農道整備事業の中止は珍しい。

同開建が事業着手に向け行った調査内容を、道全交通量の主たる部分を、や関係自治体に伝えた。それによると、公園周辺の農協合併などで農産物の流通経路が変わる可能

性が強く、「農業交通量が、農用地総合整備事業」の一環。空知管内南幌町を占める」という農用地総合整備事業の要件を満たすことが難しくなった。同計画は「野幌東地区一五・二の道路を九十

九億円を投じて整備する計画で、うち同公園内は四・九で、江別市道の拡幅などを予定している。農道が中止になった場合、総合整備事業全体が中止になる。同計画に反対してきた自然保護団体「フォーラム野幌の森」の五十嵐敏文代表は「理由はいろいろあれ計画中止はうれしい」と話す。

市道で整備を
江別市が検討
農道計画中止問題
道立野幌森林公園(札幌市、江別市など)内を

通る国の農道整備計画で、札幌開発建設部は十二日までに、同計画の二〇〇二年度予算概算要求を見送ったことを、道や札幌市、江別市など関係自治体に伝えた。自治体側は事実上の計画中止を受け止めている。空知管内南幌町、同管内栗沢町

とともに期成会を結成し、国に事業推進を要望してきた江別市の農業振興課は「農道としての整備中止は残念。森林公園内の江別市道のうち、札幌市厚別区側から一・九キロは、通学路となっており、市道としての整備を検討したい」としている。

農道計画を中止

野幌森林公園 物流ルート変更で

道立野幌森林公園内に計画していた農道整備計画で、札幌開発建設部は十二日、来年度の概算要求を見送ることを決めた。事実上の中止決定で、「貴重な自然が損なわれる」として、地元の自然保護団体などが計画に反対していた。

計画では空知支庁南幌町から江別市を経て同公園の南端を横断、札幌市厚別区に抜ける総延長約十五キロの道路を、農道として拡幅、改良する予定だった。総事は「計画は来年度以降の事業継続についても、今の状況では難しい」としている。

同開建はこの日、計画中止を要望していた自然保護団体「フォーラム野幌の森」(本部・江別市)に、この方針を伝えた。五十嵐敏文代表は「貴重な森を損なう計画が中止の方向に動いたことはうれしい」と話していた。